

防災週間

8月30日(土)
~9月5日(金)



9月1日は「防災の日」です。関東大震災が発生した日であるとともに、昭和34年の伊勢湾台風によって戦後最大の台風被害を被ったことも契機となり、「防災の日」と定められました。

自分たちのまちは自分たちで守る！！



自助・共助・公助とは？

自助：自らの手で自分・家族を災害から守ること。

共助：となり近所で協力し合って、ともに地域を守ること。

公助：公の機関による救助・援助活動のこと。



大災害時には様々な災害が多発し、消防などの公共機関の援助（公助）がすぐに届かないことがあります。大災害時の減災には、**自助・共助**の力が不可欠です。一人ひとりの行動と地域の協力が合わさることで、災害による被害を最小限に抑えられます。

家具類の転倒・落下・移動防止対策をしましょう

家具類が転倒・落下・移動してケガを負わないよう、留め具類等による家具類の転倒・落下・移動防止対策を施しましょう。



転倒・落下・移動防止

防災訓練に参加しましょう

火災や地震などのいざという時に、より適切な行動がとれるよう、近隣の方と共に、防災訓練に参加し、身体防護、初期消火、通報訓練、避難要領を身につけておきましょう。

いざという時、顔の見える関係・助け合える関係が命を救います！

防災訓練は、地域連携を深める第一歩です。

地域全体で助け合える体制を築きましょう。

知ろう！防災
行こう！訓練



救急医療週間

9月7日(日)
～9月13日(土)



9月9日は「救急の日」です。救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図る目的として、9月9日を「救急の日」と決めました。

一人でも多くの命を救うために…



救急車は**命**を救う限りある資源です。

真に救急車を必要としている方が利用できるよう、**東京版救急受診ガイド**を活用したり、**東京消防庁救急相談センター(#7119)**に相談する等救急車の**適時・適切な利用**のご協力をお願いします。

いざという時、動ける自分に ～応急手当を身につけよう！～

突然の事故や急病。その場にいる人がすぐに対応できるかどうかで、命が助かる可能性が大きく変わります。



医療機関や救急隊が到着するまでの数分間、**応急手当**は命をつなぐ大切な行動です。

救命講習では、突然倒れた人への対応(心肺蘇生)、AEDの使い方、出血時の応急処置(止血法)など、緊急時に役立つ知識と技術を実践的に学べます。



各署防災週間・救急医療週間に伴うイベントの開催状況

消防署	行事内容	日時	場所
大森消防署	防災救急フェア	9月6日(土) 10:00～15:00	イトーヨーカドー大森店 大田区大森北2-13-1
蒲田消防署	防災フェア	9月2日(火)～5日(金)	大田区役所 大田区蒲田5-13-14他各特別出張所
田園調布消防署	防災救急フェア	9月7日(日) 9:30～12:00	田園調布せせらぎ館 大田区田園調布1-53-12

<問合せ先>

大 森 消防署 3766-0119 田園調布消防署 3727-0119
蒲 田 消防署 3735-0119 矢 口 消防署 3758-0119